



今回の合計は「4」。
これを前回の「139」に加えて、メーターは、一気に「143」になりました。
このところ、グングン伸びています。
この後も、楽しみにしててください！

◇11月21日（日）
ライオンズクラブ旗争奪豊岐少年剣道育成大会
郷ノ浦少年剣道クラブが
団体戦 小学生低学年の部 優勝
団体戦 小学生高学年の部 第3位で「2」

◇11月24日（水）授業参観で、全学級の
子供たちが学習を頑張りましたので「1」

◇11月27日（土）
三平杯バレーボール大会で、
女子チームが3位になりましたので「1」

ありがとうございます！「危ないですよ」とのお知らせ！

先日、地域の方（名前は名乗られませんでしたので、どなたかわかりません。）から、
子供が崖のような所に登っていて危ないですよとのお知らせをいただきました。
学校では、その知らせを受けて、すぐに、心当たりのある子供を探し、注意すると共に、
昼の放送で、全校児童に、危ない場所での遊びや危険な遊びをしないことについて、
指導をしました。
地域の方のお気づきによって、事故になっていたかも知れない事例を事前に押さえる
ことができました。
お名前はわかりませんが、教えてくださった方に、心から御礼申し上げます。
ありがとうございました。

主な行事予定

<12月>

1日（水）～3日（金）
：修学旅行（6年生）
2日（木）：チャレンジ検定②
6日（月）：読み語り
：代表委員会
7日（火）：全校体育（持久走）
10日（金）：持久走記録会・学級懇談会
12日（日）：もちつき会（5年PTAレク）
14日（火）：豆腐づくり（3年）
15日（水）：支部児童会・集団下校
24日（金）：第2学期終業式
25日（土）～1月7日（金）冬休み

<令和4年1月>

11日（火）：第3学期始業式
18日（火）～21日（金）：書き初め展
27日（木）、28日（金）：CRT学力検査

※上記の内容は、あくまで現時点での
予定であり、変更になる場合が
あります。

給食費は、必ず納入を！

給食費の未納がまだあります。給
食費は必ず納めるようにしてくださ
い。

未納が長期に渡りますと、文書に
よる催促、家庭訪問による催促等、
所定の手続きを経ても納入がない場
合は、裁判所を通した手続きにより、
納入（強制執行を含む）していただ
くことになります。

未納の場合は、納入催促状を配付
します。催促状が届いたら、必ず、
そして、すぐに納入してください。

お詫びと訂正

前号の行事予定で、
12月14日（火）：豆腐づくり（3年PTAレク）
と、紹介していましたが、PTAレクではあり
ませんでしたので、訂正してお知らせします。
※3年生の保護者の皆様には、配布した日の内に
一斉メールでお知らせ済みです。



人を
喜ばせる
人になる

盈科小学校学校便りNo.23

令和3年11月30日
文責 校長 中上一義

あと1点！

11月28日（土）、バレーボール大会が開かれ、盈科小学校の子供たちも参加し、
一生懸命のプレーを見せました。その1コマをお知らせします。



21対20……男子チームの初戦の1セット目。子供たちの
動きは素晴らしく、現在のチームとして初めての公式戦でのセッ
ト奪取に王手をかけましたが、惜しくも、あと1点を先にとられ、
初のセット奪取はなりませんでした。
滲みかけていた、私のうれし涙は、流れ出す一步手前で止まりました。

21対18、21対19……。女子チームは、今年度の豊岐市内のほぼすべての大
会で、優勝、準優勝した、実績的にはNo.1、No.2のチームと互角以上に渡り合いまし
た。惜しくも敗れはしたものの、その点差は、ごくわずか。あと1点を取っていたら、
同点、あるいは逆転していたのです。
流れ出た悔し涙は、気づかれぬようにそっと拭い、試合後の挨拶をする子供たち
に拍手を贈りました。

試合が終わって、監督さんにお話を聞くと、現チームも最初の頃は今日の対戦相手
に対して、わずか数点しか取れない時もあったのに、今日のような戦いぶりができる
ようになった。これは、子供たちが、基本的な練習をコツコツと続けてきたからだと
思うと話されました。

あと1点と言えば、先日、ある学級に入って子供たちにも1点を大事にすることに
ついて話したことを思い出しました。

その時間は担任の先生が出張で、代わりに学級に入ったのですが、テストへの向き
合い方や、終わった後の見直しの仕方等が垣間見えたことから、話したのです。

その内容は、
「小学生である今はあまり感じられないかも知れないが、この先、高校や大学入試で
は、あと1点というところで、自分の希望する学校に行けないことがある。就職試験
でも、あと1点というところで、自分の希望する仕事につけないことがある。あと1
点を取れないで泣くことがあるのが現実の社会の厳しさ。だから、あと1点を大事に
する、あと1点を取ることにこだわる力を身に付けることは大切なこと」

「あと1点を確実に取れる人になるために、大事なことは、とにかく話を聞く、教科
書に書かれた内容をきちんと読み、先生や友達の話聞き漏らさないように聞く、そ
して、やるようになっていることは、必ずすること」
といったものでした。

本校で学ぶ子供たちが、あと1点を取ろうという習慣が身に付けきれなかったが為
に、将来の大事な進路選択の場等で泣くようなことは何としても避けたいのです。

ところで、ここまで、バレーボールと学習という違った分野での「あと1点」に関
するエピソードを紹介しましたが、実は、両者に共通するものがあります。

それは、もうお気づきと思いますが、「基本的なことを大事にする。基本的なこと
を、きちんと練習・学習する、コツコツと継続する」ということです。

それが、スポーツでも学習でも、ここぞという時に、あと1点にこだわり、あと1
点が取れるようになるための一つの方法であるような気がします。

本校では、この「基本を大事にする」という視点から、冬休みの宿題のあり方や取
組方も含めて、再検討し、12月の学級懇談会でもお知らせするようにします。

子供たちが、あと1点を大事にする、ここぞという時にあと1点がとれるように努
力する姿勢を身に付け、力を伸ばしていけるようにするために。

